

令和6年能登半島地震 文化遺産防災マップから推定す る 文化遺産の被害状況

東北大学災害科学国際研究所

災害文化アーカイブ研究分野 蝦名 裕一

歴史文化遺産保全研究分野 川内 淳史

災害時における文化遺産の救済・保全

○災害と文化遺産

災害発生時、被災地の復旧にともない
古文書の廃棄や伝統的建造物の解体が進行

→**災害後、できるだけ早く文化遺産を
安全な場所へ移動する文化遺産レスキューを
始動する必要がある。**



○文化遺産レスキューの課題

災害発生直後、被災地では被災者の救助やインフラの復旧作業が最優先
→翻れば文化遺産レスキューの開始までは時間的猶予がある。

しかし自治体の文化財担当者や地域の人々も生活復旧が優先事項

= **被災地への直接的アプローチは被災地への負担増**

⇒**被災地の外から文化遺産の被災状況を推定できないか？**

○文化遺産防災マップ

さまざまな文化遺産の位置情報をオンラインマップ上に登録。

災害発生時、各種災害情報と重ね合わせ、
文化遺産の被害状況を推定することが可能

⇒**災害発生後、被災地の外から文化遺産への被災状況を推定し、
文化遺産レスキューにむけたロジスティクスを考案するもの**

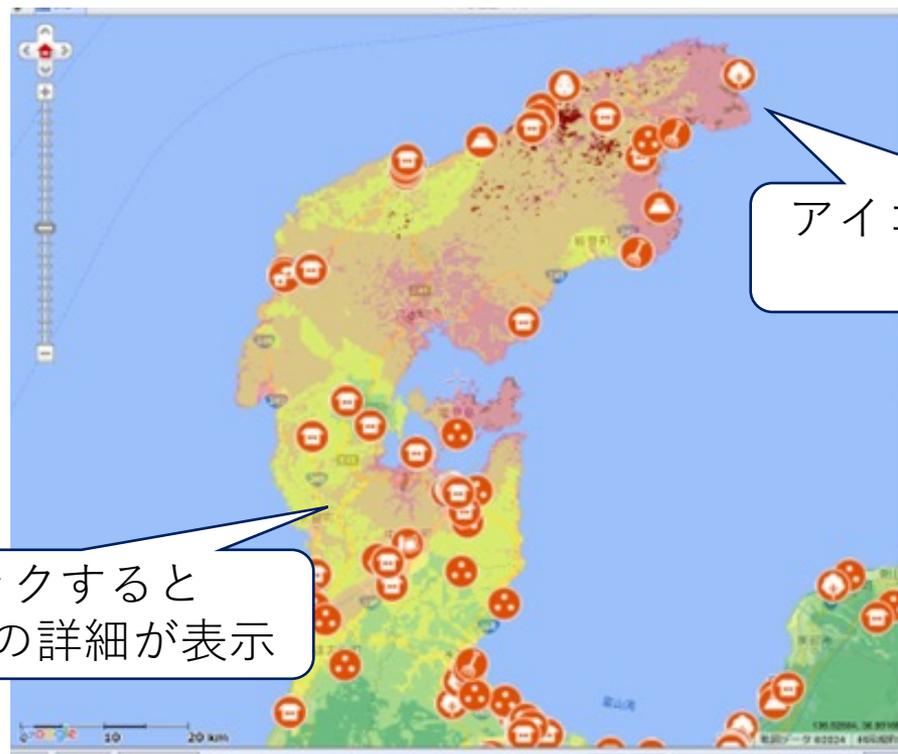
文化遺産防災マップ

○災害研版“文化遺産防災マップ”

eコミマップをプラットフォームとして作成

→ID・パスワード制で閲覧者管理、文化財関係者に限定して公開

= 災害時の破壊・盗難の抑止が目的



アイコンで文化遺産の
種類を表示

クリックすると
文化遺産の詳細が表示

- ・ 現在、文化遺産マップは、国と都道府県の指定文化財約35,000件を登録。
- ・ **2023年度より科研費助成事業（基盤B）で市町村指定を含めた全国版のマップ制作。** →東北大、新潟大、国文研、神戸大、鹿児島大および防災科学技術研究所、岩手県立博物館の関係者で研究を展開。

令和6年能登半島地震への対応

○事前までの文化遺産防災マップの準備状況

石川県、富山県、新潟県については国+県指定文化財のみの情報。

○令和6年能登半島地震への対応

令和6年1月1日 地震発生

- ・夜、J-RISQの公表した推定震度分布を文化遺産マップを重ね合わせ。

○1月2日～3日

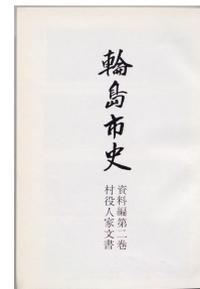
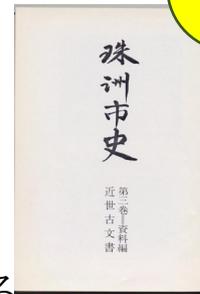
- ・各震度領域に含まれている文化財をエクセルシートに色分けしながら集計

○1月4日

- ・国土地理院が公開した斜面崩壊・堆積分布情報を追加。

○1月5日

- ・日本地理学会が公開した津波浸水域の情報を追加
- ・『珠洲市史』『輪島市史』に収録される古文書情報を抜粋してマップ化
(→川内准教授作業分)



No.	種別	名称	所在地	種別	種別	種別	種別	種別	種別
101	101	2024 珠洲市指定文化財(国指定)	珠洲市指定文化財(国指定)	国指定	20180228	国指定	20180228	国指定	20180228
102	102	2024 珠洲市指定文化財(県指定)	珠洲市指定文化財(県指定)	県指定	20180228	県指定	20180228	県指定	20180228
103	103	2024 珠洲市指定文化財(市指定)	珠洲市指定文化財(市指定)	市指定	20180228	市指定	20180228	市指定	20180228
104	104	2024 珠洲市指定文化財(国指定)	珠洲市指定文化財(国指定)	国指定	20180228	国指定	20180228	国指定	20180228
105	105	2024 珠洲市指定文化財(県指定)	珠洲市指定文化財(県指定)	県指定	20180228	県指定	20180228	県指定	20180228
106	106	2024 珠洲市指定文化財(市指定)	珠洲市指定文化財(市指定)	市指定	20180228	市指定	20180228	市指定	20180228
107	107	2024 珠洲市指定文化財(国指定)	珠洲市指定文化財(国指定)	国指定	20180228	国指定	20180228	国指定	20180228
108	108	2024 珠洲市指定文化財(県指定)	珠洲市指定文化財(県指定)	県指定	20180228	県指定	20180228	県指定	20180228
109	109	2024 珠洲市指定文化財(市指定)	珠洲市指定文化財(市指定)	市指定	20180228	市指定	20180228	市指定	20180228
110	110	2024 珠洲市指定文化財(国指定)	珠洲市指定文化財(国指定)	国指定	20180228	国指定	20180228	国指定	20180228
111	111	2024 珠洲市指定文化財(県指定)	珠洲市指定文化財(県指定)	県指定	20180228	県指定	20180228	県指定	20180228
112	112	2024 珠洲市指定文化財(市指定)	珠洲市指定文化財(市指定)	市指定	20180228	市指定	20180228	市指定	20180228
113	113	2024 珠洲市指定文化財(国指定)	珠洲市指定文化財(国指定)	国指定	20180228	国指定	20180228	国指定	20180228
114	114	2024 珠洲市指定文化財(県指定)	珠洲市指定文化財(県指定)	県指定	20180228	県指定	20180228	県指定	20180228
115	115	2024 珠洲市指定文化財(市指定)	珠洲市指定文化財(市指定)	市指定	20180228	市指定	20180228	市指定	20180228
116	116	2024 珠洲市指定文化財(国指定)	珠洲市指定文化財(国指定)	国指定	20180228	国指定	20180228	国指定	20180228
117	117	2024 珠洲市指定文化財(県指定)	珠洲市指定文化財(県指定)	県指定	20180228	県指定	20180228	県指定	20180228
118	118	2024 珠洲市指定文化財(市指定)	珠洲市指定文化財(市指定)	市指定	20180228	市指定	20180228	市指定	20180228
119	119	2024 珠洲市指定文化財(国指定)	珠洲市指定文化財(国指定)	国指定	20180228	国指定	20180228	国指定	20180228
120	120	2024 珠洲市指定文化財(県指定)	珠洲市指定文化財(県指定)	県指定	20180228	県指定	20180228	県指定	20180228

被害状況の推定

○建物被害が生じる“震度5弱”以上の数を集計

国指定

凡例	総数	重要文化財（建造物）	重要文化財（美術工芸）	登録有形文化財（建造物）	重要伝統建造物群	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	天然記念物	名勝	景観	重要な文化的景観
震度7	9	4				1			1	3		
震度6強	32	6		20		1	1	2		1		1
震度6弱	51	7	1	36	1	1		3	1	1		
震度5強	34	10	3	15		1		5				
震度5弱	219	33	17	147	4	3		7	3	4	1	
合計	345	60	21	218	5	7	1	17	5	9	1	1

県指定

凡例	総数	有形文化財	有形民俗文化財	無形文化財	無形民俗文化財	史跡	天然記念物	名勝
震度7	10		3		5		2	
震度6強	44	22		6		3	12	1
震度6弱	53	13		1	7	6	23	3
震度5強	56	38		1	9	4	3	1
震度5弱	169	142	2	4	2	9	6	4
合計	332	215	5	12	23	22	46	9

→度5以上の強震域に含まれる指定文化財（国・県のみ）で677件

⇒指定品はあくまで目安。その背後にはさらに膨大な未指定の文化遺産が被災している可能性。

斜面崩壊や津波浸水域に含まれる文化遺産も。＝複雑な被災状態。

⇒直近の課題はこれらの文化遺産を仮置きできるスペースを確保できるか

被害状況の推定

○富山県 国指定

凡例	総数	重要文化財（建造物）	重要文化財（美術工芸）	登録有形文化財（建造物）	重要伝統建造物群	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	天然記念物	名勝	景観	重要文化的景観
震度6弱	11	5		4				2				
震度5強	76	21	3	45	1	2	1	1	2			
震度5弱	117	21	6	65	2	3		14	4	2		
合計	204	47	9	114	3	5	1	17	6	2		

県指定

凡例	総数	有形文化財	有形民俗文化財	無形文化財	無形民俗文化財	史跡	天然記念物	名勝
震度6弱	2	1					1	
震度5強	50	27		4		6	11	2
震度5弱	94	47	6	4		14	22	1
合計	146	75	6	8	0	20	34	3

○新潟県 国指定

凡例	総数	重要文化財（建造物）	重要文化財（美術工芸）	登録有形文化財（建造物）	重要伝統建造物群	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	天然記念物	名勝	景観	重要文化的景観
震度6弱	5			4		1						
震度5強	89	15		60	1		5	2	4	1		
震度5弱	173	22	7	118		5	1	11	6	2		
合計	267	37	7	182	1	6	6	13	10	3		0

県指定

凡例	総数	有形文化財	有形民俗文化財	無形文化財	無形民俗文化財	史跡	天然記念物	名勝	その他
震度6弱	2	2							
震度5強	62	35	4	2	3	14	3		1
震度5弱	141	81	5	2	9	19	21	1	3
合計	205	118	9	4	12	33	24	1	4

令和6年能登半島地震の 文化財被災推定



石川県の突出した被害状況。
特に震度6以上に含まれる文化財が約1 / 4

文化遺産防災マップから推測する文化財被害と対処法の試案

○石川県北部で被災した指定文化財数が他県に比べ突出

指定文化財はあくまで目安

その背後には膨大な未指定文化遺産の存在

⇒被害の甚大さゆえに、救命・復旧作業が最優先

被災した文化遺産が破損しない最低限の措置

⇒被害の多様性 = 震害のみならず土砂災害、津波浸水

= これらに対応した保管場所・施設が必要

Ex: 津波浸水資料を保管する冷凍庫など

○富山県・新潟県の被害

震度5以上の地域が多いが、周辺のインフラは無事

⇒迅速な復旧やがれき撤去作業が始まる

= **これにともなう文化遺産の廃棄や処分の進行する懸念**

⇒古文書廃棄防止の呼びかけやがれき置き場巡回の必要性

* 新潟資料ネットをはじめ、各地の資料ネットが実施

共通する課題は、文化遺産救援の手が届くまでの保管場所の確保

今後の展開について

- ・ 現在、石川県周辺と文化遺産をめぐる直接的連携関係はなし

歴史文化資料保全の大学・共同利用機関
ネットワーク事業（2017～）

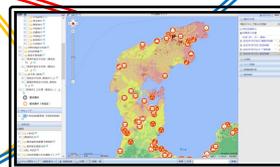
連携協力基本協定（2022～）

文化遺産マップ
研究チーム



宮城資料ネット

連携協定



新潟大

国文研

神戸大

鹿児島大

全国の資料ネットへの発信

連携連携研究協定
（2023～）

全国の文化財関係者への発信



独立行政法人国立文化財機構
文化財防災センター

文化遺産の保全をめぐる各機関との連携関係をチャンネルとして、“被災地の外”からの支援として文化遺産マップを作成・分析し、被災地での活用を期す